

シンポジウム

多様な視点で「防災・減災」に取り組むために ～支援のカタチを考える～

震災から6年が経過し、震災の風化が危惧される中、改めて私たちの経験とそこから学んだ教訓を伝えていく必要があります。特に、障害者・外国人・高齢者など、多様な人々の被災時の経験は、その支援のあり方も含め、被災地の共通のテーマとして今後につないでいく必要があります。そこで、多様な視点で災害時の支援活動に取り組む方々とともに「支援のカタチ」を考えます。

2017年9月17日(日) 13:30～16:00

エル・パーク仙台 セミナーホール

<141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5階>

<パネリスト>

阿部 一彦 (あべ かずひこ) **さん** <障害者支援の立場から>
社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会 会長

内田 有美 (うちだ ゆみ) **さん** <性的マイノリティ支援の立場から>
性と人権ネットワークESTO スタッフ

鉢呂 智子 (はちろ ともこ) **さん** <外国人支援の立場から>
仙台白百合学園高等学校 SGH 運営委員会 委員長

<コーディネーター>

宗片 恵美子 (むなかた えみこ)
特定非営利活動法人イコールネット仙台 代表理事



★ 定員：80名 ★ 参加費：500円

★ 申込み・問合せ

特定非営利活動法人イコールネット仙台

- TEL：090-1398-5065 (佐藤)
- FAX：022-271-8226 (FAXでお申込みの場合は、裏面の用紙をお使いください)
- email：emuna@ve.cat-v.ne.jp

★ 申込締切：9月11日(月)

主催 特定非営利活動法人イコールネット仙台